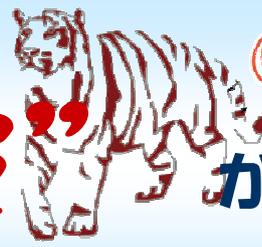




～巨大地上絵デザイン発表～

海浜公園に巨大な“寅”が登場！！



ほっかぽか 冬フェア!!  
 2009年 12月19日(土) ~ 2010年 1月11日(月祝)

「みんなでアート♪巨大地上絵をつくろう！」がスタート 12/12(土)～12/18(金)



昨年の巨大地上絵 (平成20年12月27日撮影)

師走に入り、年賀状の用意を始める季節になりました。ひたち海浜公園では、12月19日(土)から、**来年の干支にちなんだ「寅」の巨大な地上絵**が登場します。その大きさは縦約18m・横約21m！脇には、高さ6mの巨大松ぼっくりツリーも登場！この巨大アート、観覧車から見下ろすのがおすすめです。

巨大アートの材料は、ご来園いただいた皆様にもご協力いただいて集めたまつぼっくり、50,000個を使います。そして、12月12日(土)から12月18日(金)の間に開催するイベント、「**みんなでアート♪巨大地上絵をつくろう!**」で、来園されるお客様にも参加していただいて完成させます。**みんなで集めた“まつぼっくり”で、みんなで作る“巨大アート”**にどうぞご期待下さい。

なお、「巨大地上絵」が完成する12月19日(土)から翌年1月11日(月祝)の間、“ほっかぽか冬フェア!!”と題して、公園ならではの心も体も温まるイベントを多数、開催します。(※イベントの詳細は、追ってご案内いたします)。

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4

ひたち公園管理センター企画課 穂積・小堆こあぐつ・鈴木

電話 (029) 265-9005 FAX (029) 265-9339

※お客様問い合わせ電話番号 (029) 265-9001

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp>



のスタートは、巨大地上絵の完成から～

100%海浜公園産

## “ツリーと地上絵が織り成す自然素材の巨大アート” デザイン発表!!!

みんなで拾った温かい気持ちのいっぱい詰まったまつぼっくりを使って描く「巨大地上絵」！今年のデザインは、来年の干支「寅」です。

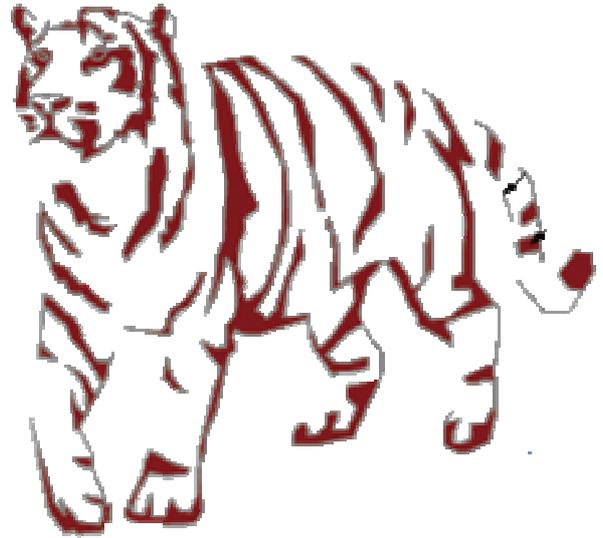
縦約18m・横約21mの「巨大地上絵」は、観覧車から見下ろすのがおすすめ！

地上絵は、12月12日(土)から12月18日(金)の間に開催するイベント、「みんなでアート♪巨大地上絵をつくろう!」の中で完成させます。

今年の「ほっかぽか冬フェア!!」は巨大地上絵の完成する12月19日(土)からスタートします。

★寅の下絵は、薪(マツの間伐材)で縁取り、その中を、お客様にまつぼっくりで埋めていただきます。

★寅の足元に、コキアを積み重ねて草原を描きます。



来年の干支「寅」



国営ひたち海浜公園では、寒さゆえの暖かさの恩恵や、寒さゆえに縮まる気持ちの距離感を“ほっかぽか”というキーワードで表現し、冬ならではの自然の楽しみ方を発信する「ほっかぽか冬フェア」を開催します。

年末・年始のみならず冬休み期間中、開催しますので、公園で年末の慌しさを癒し、心も体も“ほっかぽか”に温まって新年をお迎えください。

### ■実施期間

平成21年12月19日(土)～平成22年1月11日(月祝)

計24日間(休園日除く)

※サイクリングラリーは平成21年12月19日(土)～平成22年2月28日(日)

### ■実施場所

プレジャーガーデンエリア、サイクリングコース 他

### ■主催

国土交通省関東地方整備局 国営常陸海浜公園事務所



※イベントの詳細は、次号、プレスリリースにてご案内いたします。

～「ぼっかぼか冬フェア!!」まで待てない～ **プレイイベント開催中!!**

# まつぼっくり拾い

11/13 (金) → 12/11 (金)

「巨大松ぼっくりツリー」や「巨大地上絵」で使用するまつぼっくりは、ご来園いただいた皆様にもご協力いただいて集めたまつぼっくり、50,000個を使います。

各ゲートで公園スタッフが来園者へチラシと収集袋をお配りして、「まつぼっくり拾い」にご協力いただきます。

■集める期間: 11月13日(金)～12月11日(金)

■集める数: 50,000個

**【まつぼっくり拾い 近況報告!!】**(11月29日現在)

■現在集まった個数: **25,000個**



入園時、ゲートにてまつぼっくり拾いのお願いをします。



退園時、ゲートにてまつぼっくり回収します。

みんなでアート!

# 巨大地上絵をつくるぞ!

12/12 (土) → 12/18 (金)

巨大地上絵は、秋、多くのお客様にお楽しみいただいた“みはらしの丘”の「コキア」や、園内で発生した「マツの間伐材」など、公園の自然素材を使った巨大アートの下絵に、お客様が「まつぼっくり」を埋めて完成させる“みんなで作り上げる巨大アート”です。

■期間: 平成21年12月12日(土)～18日(金)

■場所: プレジャーガーデン大観覧車前

■参加費: 無料(セルフ参加)



## ひたち海浜公園とまつぼっくり その2

年の瀬も押し迫り、間もなく新しい年の幕開けです。新春を彩るのは「歳寒三友」と呼ばれる冬の寒さに耐える三種の植物「松竹梅」です。特に雪霜を越しても、変わらず青さを保つ松は長寿の象徴ともされています。

海浜公園では、海岸側はクロマツ、内陸部はアカマツの林となっており、冬も緑の松林が象徴的です。

マツといえば、まつぼっくり。園内各所で見られるお馴染みのまつぼっくりは、球果といって、夏の乾燥や冬の厳しい寒さなどから、堅い鱗片の間に入った大切な種子を守る機能をしています。春に受粉して、種子が成熟して私たちのよく知っているまつぼっくりになるまでには、翌年の秋までかかります。まさに、“ゆりかご”のような役割です。秋に種子が飛んでいった後も木に付いたまま残ります。そのまま、何年も木に残っているものもあるそうです。

一年を通じて、子どもたちで賑わうこの公園を見守るにはぴったりの木です。



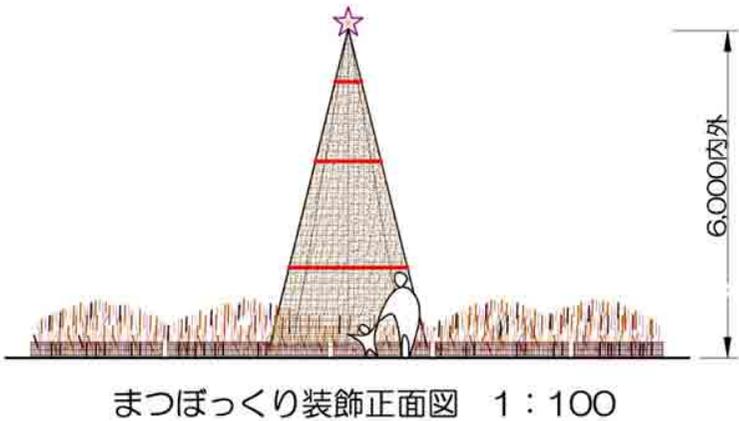
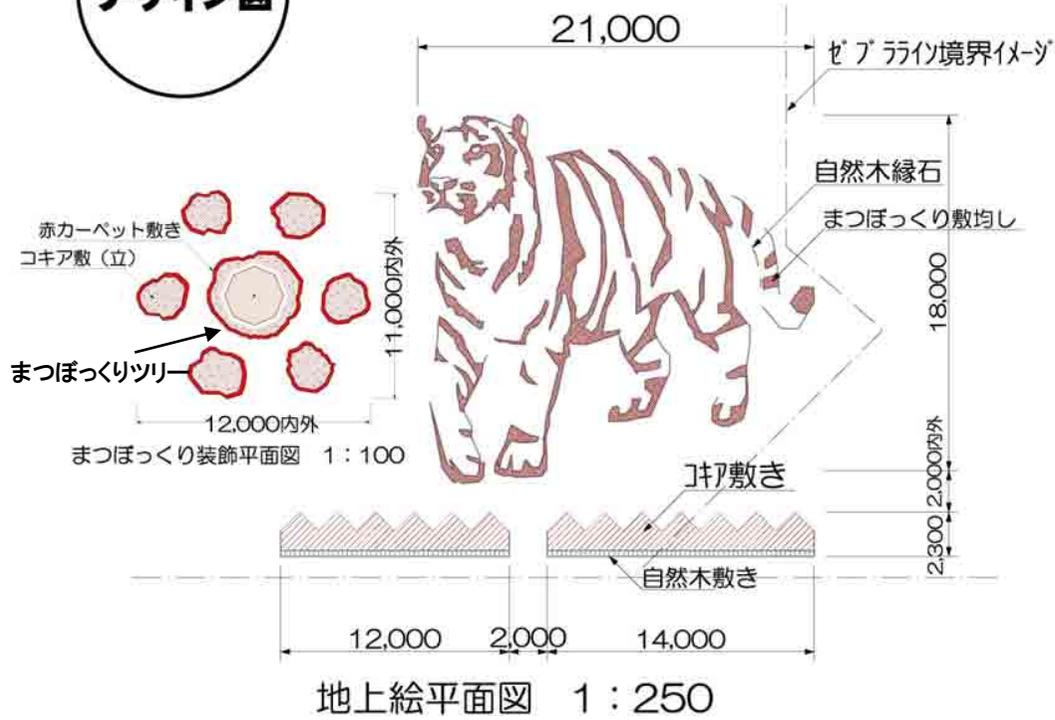
種子が飛ぶ前のまつぼっくり



種子が飛んだ後も木に残るまつぼっくり

<公園ミニ便り>冬になると寒くて、家にこもりがちになりますが、公園では冬にしか見られない面白いものがいっぱいあります。冬鳥もそのひとつ。はるか北から渡り鳥が次々と飛来し始めてます。海浜公園で冬を越すものもいれば、中にはここを中継地点にして、さらに南下するものもいます。今日はオオホシハジロが西池にいるのを見ました。日本にはあまり飛来しない珍しい鳥だそうです。(す)

デザイン図



位置図

